



市政「ここが聞きたい」
いっぱい質問

花巻市政の ここを聞きたい! 一般質問

議員13人が登壇

Q 市内にある観光産業の大半は中小規模事業者が占めていると考える。
そこで、こうした中小の観光関連産業の課題をどの様に捉えているか伺う。

A **〔市長〕** 観光産業に従事する中小規模事業者は、当市の宿泊業の場合、大部分を占めている。その課題は伝統的な経営手法となっており、後継者の確保や育成、外国人旅行者の受け入れ態勢が整っていないことである。また、お土産製造業や、小売業でも同様であるが、事業者の努力により成果を上げている例がある。
今後、本市の観光客入込数は国内客が減少する一方、訪日外国人観光客は今後も増加が見込まれ、その誘致のために海外向け情報発信や受け入れ環境の整備を進めることが課題である。

中小観光産業の課題は 外国人観光客に向け情報発信



松田 昇 議員
(花巻クラブ)



花巻の観光産業の老舗が並ぶ 台温泉

Q 指定管理者制度は、民間の活力を生かし行政効率をアップすることにその趣旨はある。
現在149施設で制度活用されているが、本制度を今後、どの様に活用していくのか伺う。

指定管理者制度は

A **〔市長〕** 現在、指定管理者制度を導入していない施設は、保育園や幼稚園、小中学校、図書館などの教育施設をはじめ、文化施設やスポーツ施設など214カ所がある。
現時点において新たに指定管理者制度を導入する計画はないが、公共施設マネジメント計画を策定する中で、指定管理者の可能性が見いだされてきた場合には、将来的に導入を検討していきたい。

Q 総人口における年少人口、生産年齢人口が1980年以降減少している一方、高齢者人口は増加傾向にある。2020年をピークに緩やかに減少すると推測されているが、本市の人口ビジョンに掲げる人口目標を達成するため、定住人口確保策としての若者の雇用確保と子育て支援について伺う。

A **〔市長〕** 高校生の地元定着に向けた支援に加え、大学生・専門学校生の地元企業への就職支援をする。平成30年度は、県内外の学生を対象に市内事業所で1カ月から6カ月、仕事と生活体験をする中長期型インターシップやそれに対する交通費助成を行う。
本年10月からは新たに中学生・高校生等の医療費助成を実施する。
また、第3子以降の保育料負担軽減については、第1子の要件を18歳以下



待機児童解消へ
(4月に開所した市内法人立保育園)

定住人口確保策は 各種支援による地元定着向上へ

まで拡充し、第3子以降の利用者負担額の一部または全部の補助を実施する。
待機児童の解消策として、平成30年度以降に開園を予定している、法人立の認可保育所など5施設整備に対し補助し、入所定員を増やす。また、公立による小規模保育所を4月から開所し、待機児童解消へ努めていく。
市内に住んでいる子育て世帯の定住を推進するため、地域の生活サービスマチの区域や、親と同居または近居する場所に住宅を取得した中学生以下の子どもと同居する子育て世帯を対象とする奨励金制度を創設する。

Q 市長は施政方針で子育ての支援拡充をあげているが、特に重点を置く支援対策は何か伺う。

A **〔市長〕** 就学前児童の医療費全額助成や、小学生・心身障がい児・ひとり親家庭への医療費助成、子どものためのインフルエンザ予防接種負担軽減事業により、子育て世帯の負担軽減に努めていることに加え、平成30年10月から新たに中学生・高校生等に医療費助成を行う。また、第3子以降の児童の保育料負担軽減については、第1子要件を小学生以下から18歳以下にまで拡充し、第3子以降の利用者負担額の一部または全部の補助を実施する。保育所は3歳未満児について不足の状況にあり、平成30年度以降に開園予定の法人立保育所など5施設の施設整備への補助により入所定員の増加を図るほか、公立による小規模保育所が



地域の教育の要 内川目小学校

4月に開所し、3歳未満児の受け入れが拡充される。さらに、子育て世帯の定住促進・推進のため、奨励金制度を創設する。

内川目小学校の今後は

Q 内川目保育園が閉園になり大迫保育園と統合となれば大迫小学校へ入学するケースが増え、内川目小学校への入学者が少なくなるが予想されるが、今後の内川目小学校の在り方についての考えを伺う。

A **〔教育長〕** 教育委員会において(仮称)花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針(案)の策定を進めており、平成30年度において方針を策定したい。



若柳 良明 議員
(平和環境社民クラブ)

【そのほかの質問】 林業振興について、技能労働者の給与改善について



高橋 勤 議員
(明和会)

【そのほかの質問】 下水道施設等の整備について、農業について